HP Operations Orchestration software

HP Operations Orchestration softwareはITプロセスを自動化し、インシデントや問題、プロビジョニング、変更要求、複雑なワークフローの対応などに要する時間を短縮することでコスト削減に貢献します。

ITプロセスとワークフローを自動化する必要性

アプリケーション、仮想サーバーおよび物理サーバー、ネットワークデバイス、デスクトップ、ストレージインフラストラクチャなどを含むデータセンターの規模や複雑性が増大する中、多くのIT組織がクリティカルなIT管理システムの実装を進めています。これらのシステムには、複雑さを増すデータセンターを管理するための自動化ツール、サービスデスクツール、チケット管理システム、モニタリングツールなどが含まれています。しかし、IT管理プロセス(イベント/インシデント管理、変更管理、仮想化、ディザスタリカバリタスクなど)をサポートする各種システムを実装および管理するには、手動で調整されたハンドオフが必要になるため、管理コストや市場投入までに要する時間、サービス可用性に対するリスクが増大します。

HP Operations Orchestration(OO)はITプロセスを自動化し、インシデントや問題、プロビジョニング、変更要求、複雑なワークフローの対応などに要する時間を短縮することでコスト削減に貢献します。HP OOは、ビジネスサービスや基盤プロセスをサポートする従来のサイロ化されたITシステムやチームを統合することにより、日常的な保守作業だけでなく、複雑な変更調整やワークフローの効率化も促進します。

たとえば、あるHP OOカスタマーは、インシデントや問題の管理にHP OOを導入することで、平均修復時間を従来の2～3時間から数秒程度にまで短縮し、年間約500万米ドルのコスト削減に成功しています。さらに同カスタマーは、サポートスタッフを増員することなく、インフラストラクチャの拡張にも対応可能になりました。

表1は、お客様によるHP OOの一般的な使用シナリオを紹介したものです。

表1：HP Operations Orchestrationの一般的な使用シナリオ

インシデント管理	変更管理	仮想化	ディザスタリカバリ
• モニタリングツールによりサービスの停止が検出される • モニタリングツールからのアラートによりOOワークフローが起動される • ワークフローによりサービスデスクツール内でインシデントチケットがオープンされる • ワークフローにより診断およびサービス修復手順が実行される • ワークフローによりチケットが更新され、完全な監査証跡が作成される • ワークフローによりアラートが確認され、サービスチケットがクローズされる	• リクエスターがHP Service Manager内でチケットを作成する • CAB（Change Advisory Board：変更諮問委員会）によりチケットが検証され、承認された場合はOOワークフローが起動される • ワークフローにより、プロビジョニングツールを使用して変更タスクが実行される • ワークフローによりHP Universal CMDBが更新され、データセンターの正確なステータスが反映される • ワークフローによりチケットが更新およびクローズされる • ワークフローによりCCB（Change Control Board：変更管理委員会）に通知される	• ユーザーが、ゲストOS、ポート、VMパラメーターなどの情報に基づいてチケットを作成する • チケットがCABにより承認され、OOワークフローが起動される • ワークフローによりデータストア容量がチェックされ、必要に応じて追加ストレージのプロビジョニングが行われる • ワークフローにより仮想マシンがプロビジョニングされる • ワークフローからサーバープロビジョニングツールに、アプリケーションソフトウェアをインストールするよう指示が出される • ワークフローにより変更要求チケットが更新およびクローズされる	• 変更チケットの承認によりワークフローが起動される • ワークフローにより、ネットワークおよび復旧先システムが使用可能であることが確認される • ワークフローにより、必要に応じてフェイルオーバーシステムが複製される • ワークフローにより、運用システム上のモニタリング/クラスタリングが無効化される • ワークフローによりフェイルオーバーの実行、DNS設定の変更が実行され、フェイルオーバーシステムがテストされる • ワークフローによりモニタリング/クラスタリングが有効化され、チケットが更新およびクローズされる

これらは、HP OOが複雑なITワークフローをシームレスに制御し、さまざまなシステムやチームにわたる情報の共有を調整する方法を示した一例に過ぎません。

標準的なITILベースのプロセスの作成、文書化、および強制実行

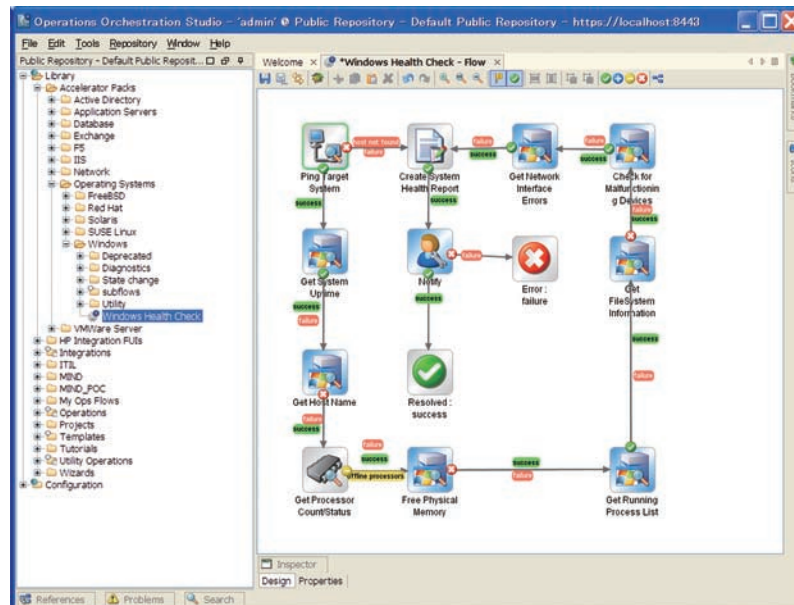
多くのIT組織では、大部分の作業が手動で実行されています。スクリプトを作成している企業もありますが、この手法にも限界があります。また、複数のシステムやアプリケーションを制御する複雑なプロセス用のスクリプトは、容易に作成できません。さらに、スクリプトは保守や共有、再使用も困難なだけではなく、実行前に信頼性を検証できず、監査も不能です。このようなスクリプトの限界は、HP Operations Orchestrationにより解決できます。HP OOは、操作性に優れたドラッグアンドワイヤスタジオを装備しており、ワークフローの作成やオーサリングに伴う管理者負担を軽減します。

HP OO Studioにはドラッグアンドドロップ機能に加えて、すぐに利用可能な各種コンテンツも用意されているため、フローを開発するための高度なスキルは不要です。内蔵のデバッグ機能を使用してワークフローをテストおよび検証することで、タスクの信頼性も向上します。また、組み込みのバージョン管理機能により、協調的な開発も促進されます。さらに、標準的なプロセスの文書化も可能で、コンプライアンス要件をサポートするための構造化された文書を生成できます。

HP OOにより柔軟にフローを実行できるため、管理時間の短縮やアジリティ（俊敏性）が向上します。個々のワークフローは、順番に実行することも、並列実行することも可能です。これにより、大規模なデバイスグループに対する単一の変更の実行や、

表2：HP Operations Orchestrationによるプロセスライフサイクル管理の自動化

オーサリング	展開	実行	レポート
• ドラッグアンドドロップスタジオ • すぐに利用可能なフローテンプレート • すぐに利用可能な統合アダプター • 内蔵デバッガー • ダイレクトスクリプトインポート • バージョン追跡	• 公開と展開 • インポートとエクスポートを共有するワークフロー • ドキュメントジェネレーター • エンタープライズセキュリティモデル • シングルサインオン統合	• ビジュアルガイドモード • 完全自動化モード • スケジュールモード • ゲーテッドトランジション • ブラウザーユーザーインターフェイスでの閲覧と検索 • 順次実行または並列仮想化	• 自動監査証跡 • すぐに利用可能なダッシュボードレポート • 平均修復時間（MTTR）に関するトレンドレポート • 内蔵の投資収益率（ROI）計算機能 • ダイナミックドリルダウン • すぐに利用可能なITILレポート • カスタムレポート

図1：ITプロセスの自動化ワークフロー
企業のデータセンター全体にわたり、複雑なITワークフローをシームレスに調整します。

複数の異なるデバイスタイプ（サーバーとストレージデバイスなど）に対して相互に関連する変更を調整しながら実行するような場合の作業時間が短縮されます。ワークフローは、状況に応じて3つの異なるモードで実行できます。

- **最前線のオペレーター：**ガイドモードで開始されます。
- **自己回復モードまたは自動モードでの自動起動：**HPシステムおよびサードパーティシステムからのモニタリングアラートにより開始されます。
- **事前スケジュールモード：**フル機能スケジューリングまたはサードパーティスケジューラが使用されます。

表2は、HP OOを使用して実行される代表的なタスクと、それらのタスクをサポートする機能の一覧です。

即座に使えるコンテンツ

HP Operations Orchestrationには、オペレーション、ワークフロー、統合のためのすぐに利用可能なアダプターが3,000以上含まれています。これらのオペレーションやワークフローは、各種のプラットフォームや製品上でフローを実行できる高度な柔軟性を備えています。管理製品用の統合アダプターを幅広くカバーしているため、大がかりな調整やプログラミングを行うことなく既存の製品を使用できます。

表3は、HP OOに含まれている重要なアクセラレータパックと統合アダプターの一覧を示したものです。

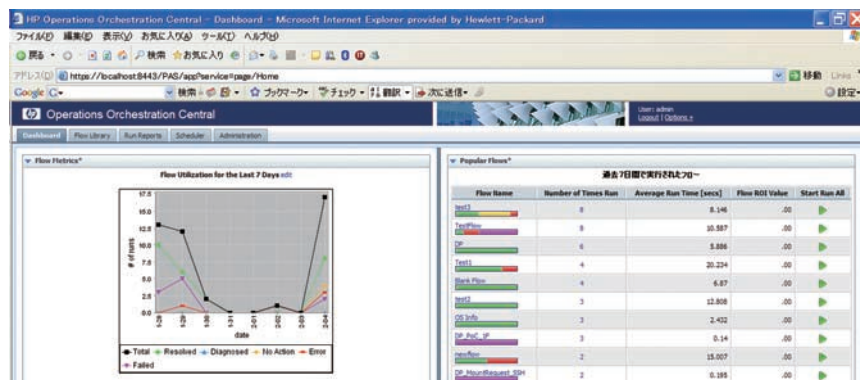
表3：すぐに利用可能なアクセラレータパック（ワークフローテンプレート）と統合アダプター

ワークフローテンプレート

- **オペレーティングシステム：**Microsoft Windows、Red Hat/SUSE Linux、Solaris、FreeBSD
- **アプリケーションサーバー：**BEA Weblogic、Citrix Presentation Server、JBOSS、Tomcat、IBM Websphere
- **ネットワーク：**Cisco
- **データベース：**Oracle、MS SQL Server、Sybase
- **仮想化：**VMware Server、VMware Virtual Infrastructure、Microsoft Hyper-V、Citrix XenServer、Citrix Presentation Server
- **その他：**Microsoft Exchange、F5、Active Directory、IIS

統合アダプター

- **サービスデスク：**HP Service Manager、BMC Remedy、CA Service Desk
- **モニタリング：**HP Operations Manager、HP Network Node Manager、BMC Patrol、IBM Netcool、CA Network and Systems Management、IBM Tivoli、MOM、SCOM 2007
- **構成および変更：**HP Server Automation、HP Network Automation、HP Client Automation、HP Storage Essentials、Microsoft SMS、Symantec Altiris
- **CMDB：**HP UCMDB、BMC Atrium

図2：HP OO Centralのフローダッシュボード

HP OOに内蔵されているROI（投資収益率）計算機能を使用すると、ワークフローを実行した場合のメリットを明確化、計算し、レポートを作成できます。HP OO Studioでは、ユーザーが各フローのROIを指定できます。HP OO Centralのダッシュボードには、運用環境でワークフローを実行した場合の累積ROIが示されます。このため、ITマネージャーは、外部ツールやスクリプト、スプレッドシートなどを使用することなく、HP OOの価値を実証できます。図2の右側のパネルには、最近1週間で実行されたフローが、対応するROI値とともに示されています。

HP Operations Orchestrationの主要なメリット

- **運用コストの削減：**反復的でエラーが発生しやすい手動作業を自動化することで、ITスタッフは戦略的イニシアチブに集中できます。
- **サービス品質の向上：**イベント/インシデントのトリアージ、診断、および解決を自動化することにより、問題の深刻化を防止し、平均修復時間（MTTR）を短縮できます。
- **サイロ化されたシステムやチームにおける変更やタスクの調整：**手動ハンドオフに伴う非効率性、複雑性、およびリスクを軽減します。
- **ビジネスアジリティの向上：**新しいインフラストラクチャの導入やエンド・ツー・エンドのビジネスサービスのプロビジョニングに要する時間を短縮することで、ビジネスニーズの変化により迅速に対応できます。
- **新しい監査可能なプロセス：**ITILに準拠し標準化されたプロセスの文書化と強制実行が可能です。
- **価値創出までの時間の短縮：**ベストプラクティスをベースとしたすぐに利用可能なコンテンツや、HPおよびサードパーティのシステム管理ツールとの統合を利用できます。
- **ワークフロー作成のサポート：**フローのオーサリングに専用の開発リソースを必要としないため、管理が容易になります。

ビジネスサービスの自動化に不可欠な要素

ビジネスサービスの自動化は、クライアント、サーバー、ネットワーク、ストレージなど、ビジネスサービスに関わるすべてのデバイスの自動化により実現されます。ビジネスサービスの自動化とは、単純なタスクからエンド・ツー・エンドのビジネスサービスのプロビジョニングに至るまで、個々のITドメインのツールやチームにわたる変更を調整するための統合されたプロセスです。HP Operations Orchestrationは、HPシステムやサードパーティシステムが提供するさまざまなソリューション（管理、自動化、チケット管理、CMDBなど）との緊密な連携を通じて、ビジネスサービスの基盤となっているテクノロジーやサポートチームを一元管理することで、エンド・ツー・エンドのIT管理プロセスを自動化します。

HP Services

HPが提供する各種サービスの活用

HPは、ソフトウェアのアプリケーションライフサイクルのあらゆる場面におけるニーズに対応できる高品質なソフトウェアサポートを提供します。

HP Softwareの保守サービスの概要については、HPの営業担当者にお問い合わせいただくか、**www.hp.com/jp/hpsoftware**の保守サポートをご覧ください。

安全に関するご注意　ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

テクノロジーはよりよいビジネス成果のために

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ
03-6416-6660 月～金 9:00～19:00　土 10:00～17:00（日、祝祭日、年末年始および5/1を除く）
HP Software製品に関する情報は　http://www.hp.com/jp/hpsoftware

本カタログは、環境に配慮した用紙と植物性大豆油インキを使用しています。 PRINTED WITH SOY INK

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076 東京都千代田区五番町7番地

JSW09282-01